



# コロナ時代の新しい気づき！

## 令和4年度さいたま市障害者協議会活動再開へ

新年団体交流会 令和5年1月16日開催 パレスホテルクラウンレストラン於



コロナ禍という困難な状況の中、健康の大切さを意識し、  
コロナをきっかけに一体感を感じることもあるのではないのでしょうか。  
会議等では Zoom 活用などの創意工夫をし活動を推進できた年でした。

3年ぶりとなる新年団体交流会は感染症対策として  
参加者の「人数制限」「十分な対人距離」での開催となりました。



# 障害者協議会事務局長就任に当たって

事務局長 船戸 均



事務局長 船戸 均

「どう行動するのか」、共に追求する  
：これこそが求められているのだと思  
います。

対外的に、特に行政からは、「障害  
者を代表する立場の団体」として一定  
の影響力を有しています。行政への政  
策提言、政策調整という力（＝役割）  
を今後も保持、強化していくことが求  
められていると思います。「当事者」  
だからこそ、行政や社会に伝えられる  
こと、伝えるべきことがあります。

昨年4月に事務局長に就任いたしま  
した。一昨年まで監事という立場で理  
事に同席させていただくことも多か  
ったのですが、改めて事務局として内  
側から協議会にかかわることとなりま  
した。

創設以来の歴史の中で培ってきたこ  
との大きさ、重要性を認識するととも  
に、今後、協議会の責務としてしなけ  
ればならないことは何か、協議会の現  
況や課題について確認・整理する必要  
があると感じています。

過去には法人化への動きもあつたよ  
うです。現在、18の団体が集まる当協  
議会ですが、障害特性や立場、考えや  
思いが異なるなかで、異なる障害特性  
や立場、考えや思いを超え、当事者や  
ご家族を中心に、関係者、支援者も含  
めて「何を目指して」、「どう存在し」、

暮らしができる社会の実現に向け、障  
害の有無、異なる特性、立場を超える  
ことが「みんな違って当たり前」な社会  
であり、ノーマライゼーション、さら  
にはインクルージョンな社会です。そ  
んな社会を目指して、共に歩む当協議  
会を下支えることにお役に立てれば  
と思います。

非常勤という立場ですが、会長を中  
心とする三役会を支え、事務局をま  
め、有意義な事業が展開できるように、  
力を注ぎたいと考えておりますので、  
よろしくお願いいたします。



さいたま市障害者協議会理事会での理事の皆さん



さいたま市障害者協議会役員

## ZOOM勉強会に 参加して

高次脳機能障害さいたま  
これからの道

代表 大鳥 浩二

私たちは、毎月1回、奇数月に  
1回、年1回の「家族教室」およ  
び「市民のつどい」の計20回、会  
場にて対面の場を設けていますが、  
コロナ禍の外出制限などを受け、  
活動に困難な時期もありました。

緊急事態宣言には、「会場開催」  
と「ZOOMによるオンライン開  
催」のハイブリッド開催で、無事  
に乗り越えることができ、ZOOM  
ミーティングの必要性を実感し  
ました。

もともとは、外出が困難な高次  
脳機能障害当事者さんもうらっし  
やるので、在宅で参加できること  
は、大いに意味がありました。が、  
私たちだけで開催する知識はなく、  
今後の期待が大きいに、高次  
脳機能障害当事者でも学べる場が  
あれば、との思いが募りました。

そんなとき、さいたま市障害者  
協議会の加盟団体、たちあおひさ  
んの発案で、ZOOM勉強会が始  
まり、当会は両副代表と参加して、  
今やZOOMミーティングを主催  
できるまでになりました。まだま



# これまでの歩みと絆

## 竹内さんご夫妻

それは温かで穏やかな幸せに満ちたひとときでした。6月19日にさいたま市精神障がい者もくせい家族会の定例会で、竹内政治さん・高子さんご夫妻のお話がありました。竹内政治さんは、さいたま市障害者協議会の副会長を務めています。また、精神障害者当事者の「ウィーズ」を立ち上げて長年に渡り地域でのピア活動に貢献しています。仲間が集う場があることは、どれ

だけ当事者にとつて安心して暮らせるのだろうと思います。

当日は、お二人のこれまでの歩みを丁寧な語っていただきました。平坦な道の前ではなかったことと思います。様々なエピソードを語る政治さんに、高子さんが「その時はどんなふうにしたの？」などと声を掛けながら、分り易く心豊かに始まりました。お二人で織りなす語りは、乗り越えてきたご夫婦の絆を感じて感動がひろがり、会場が一つになっていくようでした。

お二人は、高子さんが働いていたところに政治さんがお客さんとして来ていて出会ったそうです。お付き合いを始めましたが、政治さんは自分が精神障害者で入院をしたことがあり、薬も服用していると話し、身を引きました。精神障害についてまったく知識のなかった高子さんはどうして別れなければならぬのかわからなかったそうです。

それで高子さんは精神障害者の社会復帰施設で働くことになりました。その後、お二人は再会しご結婚されることになりました。

高子さんは支援者の道を歩かれ、市内の施設でも尽力されました。政治さんとの出会いで精神障害を知ろうとされた高子さんの思いを考えると、政治さんのすべてを受け止めるお気持ちの尊さを感じます。お二人の出会いには、特別なことは何もなかったのではないかと思います。その思いで当事者とかかわる高子さんの支援者としてのあり方は、とても素晴らしいものです。

政治さんはお仕事を再開されますが、やはり道のりは険しく、調子を崩されることもありました。車いす生活になる出来事を経て、今では身体障害と精神障害のふたつの障害者として生活されています。障害間にはサービスの格差があることを痛感されているそうです。

精神障害だけの時よりも二つの障害があることで生活が手厚く支援されていると話されました。精神障害へのサービスの遅れは顕著で、制度改革が早急になされる必要があります。私たちが訴えていくことの重要性を強く感じました。

精神障害者家族会連絡会会長

佐藤 美樹子



講演会での竹内政治・高子夫妻

まったく知識のなかった高子さんはどうして別れなければならぬのかわからなかったそうです。



# zoom



だ練習中ですが、外出できない当事者や家族メンバー、業務の合間にもつながられて、会場にいるメンバーは楽しくも、正確な意思疎通ができ、今や欠くことのできないツールとなっています。勉強会の開催、どうもありがとうございます。

今後は、開催方法などの練習を重ね、オンラインの特性を生かしてさらにステップアップし、ZOOM導入前とは比べ物にならないほどの広範囲で活動していきたいと思っています。





# さいたま市総合防災訓練・防災フェア

令和4年9月4日(日)  
大宮消防署・合併記念見沼公園

～災害弱者にとって防災訓練の大切さを学ぶ～



## さいたま市で総合防災訓練

巨大地震を想定した「さいたま市を震源とするマグニチュード7・3の直下型地震が発生し、震度6強を記録した」との想定で、さいたま市総合防災訓練が9月4日、さいたま市大宮消防署と合併記念見沼公園などで行われた。各地区の自治会や関係者、消防、警察、自衛隊ら4,986名が参加して行われた。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、市民が参加する本格的な大規模訓練は3年ぶり。災害に備えて準備することを再確認しました。市障協は14班に分かれて震災対応訓練を受けました。

**シエイクアウト訓練** 姿勢を低く、頭と首を守る・動かないーが身を守る基本行動。(家庭では) 頭を保護し、机の下など安全な場所に避難する▼慌てて外に飛び出さない▼無理に火を消そうとしない。エレベーター内で地震が起きたら、すべての階のボタンを押して停止させて、すぐ降りる▼家を離れて避難するときには、ガスの元栓と一緒にブレーカーも落とす。

**非常持ち出し品確認** 避難場所での生活に最低限必要な品をリュックなどに詰めて、いつでも持ち出せるように準備する。

**要配慮者について** 地域住民が協力して支援が必要な「要配慮者」をしつ

## さいたま市総合防災訓練

去る9月4日、大宮消防署・合併見沼公園にて、令和4年度さいたま市総合防災訓練が行われました。私は3年ぶりの参加でした。

天気にも恵まれたとはいえ、非常に暑かったです。防災フェア・消防車等の展示には、家族連れが多く、人気でした。

今回は、震災対応訓練があつて、私たち聴覚障害者も参加させていただきました。参加して思ったことは、中学生・看護学院の学生・少年消防団が参加している中、障害のある人とならない人組んで体験した方が効果的だったのではと思いました。年に一度しか体験できない場でありますので、来年度の防災訓練をぜひ見直してほしいと思います。年ごとに一つ一つ良い方向に動いてほしいものです。

暑い中、皆さんお疲れ様でした。

さいたま市聴覚障害者協会  
横島 美智子



かりサポートする。

## 消火器取扱い訓練 安全ピン

を引抜き抜き、ホースを火元に向けて、レバーを強く握る。

## 重量物の除去訓練

倒壊した建物の瓦礫から人を救助するには、身の安全を確保した状態で、てこの原理(ボールと枕木)を利用することで救助可能。

視察に訪れた清水市長は「訓練に臨む姿を見て、自助・共助の重要性、地域防災力の力強さを実感した」と述べました。

1995年1月17日早朝、阪神・淡路大震災の直下型地震では、6,434名が命を落としています。亡くなった方の8割は、倒壊した建物の下敷きになったことが原因。普通に生活していた人達の命が奪われました。

一方、今後30年間に70%の確率で起きる「首都直下地震」いつ起きてもおかしくないと考え、備える必要があります。防災訓練を通して自分の身を守る大切さを学びました。

さいたま市精神障害者  
家族会連絡会 鈴木 義男



## さいたま市総合防災訓練に参加しました

田んぼの稲穂も黄金色となり秋の薫の中、大宮消防署防災フェア合併記念見沼公園会場に着きました。

### 1. 防災訓練が始まりました

災害の時の非常持ち出し用品の備え確認 救急セット、ヘルメット、ライト、給水ポリ袋、携帯ラジオ、常備薬、マスク、ライター、予備の乾電池、備蓄食品、レトルトカレー、飲料水、お金、トイレシートなど確認しておくこと。

### 2. 消火器取扱いの訓練

消火器の方法や使用時を普段確認しておきます。

### 3. 重量物の除去訓練

てこの原理を利用して重量物を除去し、人を助ける方法を訓練しました。

### 4. 要配慮者について

要配慮者の体験や災害時の支援方法を学びました。防災訓練を色々と体験し学び勉強になりました。災害が発生した時自分の命を守りながら周りの人に声をかけて一緒に手助けをしたいと思います。

清水市長、大宮消防署長の挨拶が終わり閉会しました。

さいたま市身体障害者福祉協会

矢口 ミヤ子





# ケアラーを取り巻く現状と必要な支援

令和4年度のさいたま市障害者協議会相談事業の一環として、「ケアラーを取り巻く現状と必要な支援」をテーマとしてこのほど、講師に日本女子大学の堀越栄子氏をお招きして講演をしていただきました。



講師：堀越栄子氏

11月12日(土) 14:00～  
浦和コミュニティセンター第15集会室

## ●ケアラーの現状と抱える課題

ケアラーがケアするのは、支援が必要な高齢者、障害児者、がん・難病・精神疾患等の慢性的な疾患を抱えた人及び医療的ケアを必要とする子どものほか、薬物・アルコール等依存症の人、ひきこもり状態の人、幼い兄弟姉妹等多岐にわたります。また、老老介護、老障介護、育児と介護を同時に担うダブルケア、配偶者介護等、ケアの在り方も多様化しています。

ケアラーは、自分のことは後回しで▽ストレス、緊張、睡眠中断・不足など心身の健康をそねている▽介護離職、ミッシングワーカーなど経済的に苦しんでいる▽時間の制約、拘束など精神的に追いつめられている▽代わりにケアを担ってくれる人がいない▽など孤独を感じ、社会的に孤立しています。

## ●ヤングケアラーへの視点

ヤングケアラーは、クラスに1人から2人はいるとい調査結果があります。▽相談もできず、孤独・孤立を感じてしまうことがある▽過度なケア負担は、子どもの心身の健康や学校生活、人生に悪影響を及ぼすことがある▽人

間関係や学力を身につける時間と機会を奪われる―これらは将来の選択へ影響する可能性が大きいのです。ヤングケアラーひとりひとりを支えるには、子どもの権利を守るとい視点、子どもの健やかな育ちの視点(ライフチャンス)を平等に持ち、潜在能力を最大限開花できること)が大事です。

## ●ケアラー・ヤングケアラーを支援するために

ケアラー支援の目的は▽ケアラーの人生を支援する(「よりよいケア」ではない)▽介護される人、する人全ての両当事者がともに尊重される▽無理なく介護を続けることができる環境を醸成・整備する(日常生活の支援)▽介護者の社会参加を保証し、学業や就業や社交、地域での活動などを続けられるようにする(人生の支援)▽介護者の経験と、人びとの介護者への理解と配慮がともに活かされる地域・社会をつくることです。包括的支援に向けて支援環境を整えることが大切です。

## ●さいたま市

### ケアラー支援条例

令和4年7月、政令指定都市で初となる「さいたま市ケアラー支援条例」が施行されました。ケアラーは

決して特別な存在ではなく誰もがケアをされる側にも、ケアをする側にもなり得ると述べられています。また相談窓口が記載された、分かりやすいパンフレットも作成されています。目指す社会は、すべてのケアラーが個人として尊重され、健康で文化的な生活を営むことができる、共に生きる社会の実現です。

講師の堀越先生は、さいたま市在住で、さいたまNPOセンターで、ケアラー支援の活動もされているそうです。この条例をステップとしてケアラー支援が展開されていくことを切に期待したいです。私たちの近くにも悩みを一人で抱え込み孤立しているケアラーがいるかもしれません。ケアラーに気づき温かい眼差しを向け、話しを聞く。それだけで気持ちが悪くなることもあ

父母の会

泉 千恵子



さいたま市啓発用リーフレット

# ヤングケアラーの実態について

注目が集まっている「ヤングケアラー」という言葉。昨年、政府が初めて小学生への実態調査を行うなど、国や自治体が支援に動き始めていることから、耳にする機会は多くなっていると思います。ヤングケアラーという概念は1990年代前半に、英国で子どもとケアの関係者の間で使われ始めたのがきっかけで広まり、日本では2010年代によりやく、メディアでも取り上げられるようになりました。とはいえヤングケアラーの認知度はまだ低いようです。

## 現状と抱える課題

厚生労働省によると、法令上の定義はないものの、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども」とされています。

ヤングケアラーの背景には、少子高齢化・核家族化・共働き世帯の増加などのさまざまな要因があります。こうした中で、祖父母や幼いきょうだいの面倒を見ている子どもたちだが、世間は、ヤングケアラーをどう見ているのだろうか。「子どもが家族を手伝うのは普通のことでは？」「それはお手伝いでしょ？」という疑問を持つ人

も多い。また、世話をしてもらった家族も、ヤングケアラー自身も「家族の世話をすることは当たり前」と感じており、問題意識を持っていないことが多い。

本来ならば大人が担うと想定されているような家事や家族の世話、介護を日常的に行っている子どもを指し、当事者の負担が増えすぎると、「学校で遅刻や欠席が増える」「友人と過ごす時間が少なくなる」「ストレスや疲労を感じる」「学習時間や金銭的な問題から進路を断念する」などの問題があり、勉強や日常生活に弊害が出てくるのが明らかになっており、ヤングケアラー自身の適切な精神ケアが必要となってきました。

## 高2の4・1%が該当

埼玉県ヤングケアラー実態調査（高校2年生）によると、現在または過去に、「家族に代わって料理や洗濯などの家事」「きょうだいの世話」「入浴やトイレの介助」「病気の家族の看病」などの項目を挙げ、「ヤングケアラー」に該当するかどうか尋ねたところ、高校2年生の4・1%に上がった。ヤングケアラーとの関係（続柄）をみると、「母」（24・0%）と最も高く、次いで「祖母」（20・3%）、「祖父」（13・6%）、「父」（11・1%）の順であった。

こうした状況を踏まえ、厚生労働省は2021年5月、学校や地域などでの「早期把握」「相談支援」「家事育児支援」「介護サービスの提供」の4つの支援策をまとめました。特設サイトや関係省庁・自治体などに掲出するポスター・リーフレットを作り、啓発活動も進めている。

## 「子ども家庭庁」発足へ

今年4月「子ども家庭庁」が発足します。ヤングケアラー支援も強化する方針。さいたま市のホームページや自治会の掲示板にもポスターが掲示してあり、「相談窓口のご案内」には、主に18歳未満の方が利用できる、SNSやLINEによる相談などの情報を複数、載せてあります。社会全体でこの問題への知識と理解を深めることが大切だと思います。

## 精神障害者家族会連絡会

鈴木 義男

## オンラインで参加

一般社団法人日本ケアラー連盟代表理事堀越氏をお招きしてケアラーを取り巻く現状と必要な支援についてのご講演をいただきました。私は、オンラインで参加



させていただきました。ケアラーの法律上の定義はないようですが、一般的には、高齢・障害・疾病等により援助を必要とする家族・友人・身近な人を無償で介護・看護等を行っている人をケアラーと呼ばれるそうです。

その中で、ヤングケアラーは、重い責任や負担を負うことで、学校生活・社会生活・友人関係に影響を及ぼし、孤立や事件事故に繋がることもありま

す。アンケート調査や電話相談の窓口の設置などから始まると思いますが、調査結果や相談内容が安心できるところまでの支援に繋がるのが必須です。条例が条例だけにとどまらないよう急がれる課題と思います。

## 特定非営利活動法人

さいたま市視覚障害者福祉協会

藤崎 明美



# 惜別

## 浅輪田鶴子さんを 偲んで



私が初めて浅輪さんにお会いしたのは平成の初期の頃だったような気がします。

さいたま市になる前の与野市をつなぐ親の会の会長として、また、埼玉県手をつなぐ育成会の副理事長として、とても輝かしい活動をしていました。

事あるごとに、色々なイベントや大会で中心的な存在でしたが、時には懇親会などで、山本リンダの(狙いうち)を舞台いっぱい踊りながら、楽しそうに歌っていた姿が今でも鮮明に懐かしく思い浮かびます。

その後、さいたま市が政令指定都市として誕生した際には先ずは、手をつなぐ育成会を一つにまとめる事からはじめましたが歴史のある会が一つにな

るといふ事は並大抵のことではありませぬ。

浅輪さんの実行力と熱意がなければ実現されていなかった可能性もありま

す。何度も何度も話し合いを重ね小規模作業所等も含めての組織作りは、今思い返しても大変な作業であったと思います。ともに経験したことで、私にとっても大きな学びの機会であったように思われます。

その後、さいたま市障害者協議会の

## 猪瀬剛さんへの レクイエム



「世界一幸せな筋ジス社長」の猪瀬さん。あなたは、「ノーマライゼーション条例」が制定された、さいたま市で、障害があっても普通に生き抜いた先駆者です。

あなたは、重度訪問介護の事業所 S T A Y F R E E の社長として、生産性を見出し納税者となりました。

設立に向けても、障害種別の各会長さんとの組織作りの意見のすり合わせ等、数えきれないほどの手間と労力の上に今の私たちの活動が成り立っているのだと深く感謝の念に堪えませぬ。

福祉一筋に邁進する姿の中にも生き生きと楽しみながら充実した生涯であったと思います。本当に長い間有難うございました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。さいたま市手をつなぐ育成会 加藤 シゲヨ

三百六十五日、自社のヘルパーさんの介助を受け、身体は動かないが行きたい場所に行ける。おいしいものを食べる。仲間に恵まれる。色々な人に出会える。手厚い医療サービスを受ける。あなたは何か特別なものではない。何気ない日常が送れることに、日々感謝していました。

9月25日、さいたま市文化センターで開催された、シテイオペラのガラコンサートで、あなたは、「カルメン」の第4幕の抜粋に感激されて「昼間からオペラって、優雅だと思いませんか」とおっしゃいました。

また一緒に観劇しましょうね。さいたま市障害難病団体協議会

中野 昭江

## 編集後記

ウクライナの戦争が始まって、ずいぶんと経ちましたが、いっこうに収束する気配がありません。日本でも軍事費の増強などと、まるで戦争ありきの世相です。確かに他国の威嚇行為は潰えませんが、米国の言いなりになり、このまま軍事費を上げていつていいのでしょうか？

日本には憲法九条という戦争放棄の決まりがあるはずですが。昔の戦争でひどい目に合って学んだ教訓でした。それが今、蔑ろにされています。当然、社会保障は削られていく一方でしょう。税金も軍事費のために上がります。今のところ、このことに関して反対の意見は聞きません。デモも行われていないようです。

世界は解り合えず疑心暗鬼に陥っています。力には力に対抗するしかないのでしょうか？外交という対話で決着をつけるのは無理なのでしょうか。(竹内)

さいたま市障害者協議会  
会報あ・うん第28号  
発行 さいたま市障害者協議会  
会長 中野 勇  
編集 さいたま市障害者協議会広報委員会  
〒330-0801 さいたま市大宮区土手町1-213-1  
大宮ふれあい福祉センター 4階  
TEL 048-653-7271  
FAX 048-653-7341  
http://www.saitama-planet.com/  
e-mail saitamacity-handynet@bz03.plala.or.jp

この会報は、共同募金の配分を受けて発行されています。